

第 5 5 回全国学校薬剤師大会報告

理事 深井邦彦

趣 旨

学校薬剤師の仕事は、地域の住民に目に見える形で貢献でき、薬剤師全体の社会的評価につながる重要な仕事である。この大会での情報交換はお互いを切磋琢磨し、学校薬剤師職能の活用による、学校保健教育の向上に一層の寄与をなすものである。

主 題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進
～心身の健康について考える子供の育成～

日 時

平成 17 年 1 1 月 1 0 日 (金) 16:30 ~ 21:00

場 所

滋賀県大津市浜町 2-40 琵琶湖ホテル瑠璃の間

日 程

開会式、表彰式、特別講演、閉会式、懇親会

《 大 会 内 容 》

表彰式

平成 17 年度日本学校薬剤師会表彰者	10 名
平成 17 年度日本学校薬剤師会感謝状贈呈者 茨城県教育委員会事務局保健福利課	他 5 名
平成 17 年度文部科学大臣表彰受賞者	21 名

特別講演

「子供の脳の発達と教育」

講師

洛和会京都医療介護研究所神経病理センター 田中 順一 先生

講演要旨

脳の大きさ(重さ)と能力(才能)は関係があるのだろうか？

2才未満の幼児に普通見られるバビンスキー反射というものがある。「・足の拇指側面裏をゆっくりこする。・足の親指が足の甲の方へゆっくり曲がる。(拇指反応)・他の4本の指は外側に開く。(開扇現象)」この一連の反射をバビンスキー反射といい、年齢を重ねるにつれて足の指が足の裏側に曲がる反応になる。もしくは、現れなくなるが、成長後もこの反射が見られると錐体路障害が疑われる。新生児の神経系異常の発見や、交通事故などの後天的な錐体路障害が疑われる場合にもこの反射を確認する。

脳梁の太さに男女間の差があり、女性は太く、一度に複数の(処理)仕事をするのに適する。男性は一つのこと集中するのに適する。・・・など発生学的、解剖学的、生理学的な話に交えて、親しみやすい講演であった。最後に、結論として、脳の大きさ(重さ)と能力(才能)は関係ないであろうと結ばれた。